研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経病態生理学Ⅱ研究	八木田 佳樹

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解するために，当該分野の未解決課題について取り組む。
（2）得られた新知見を発表する手法を身につけるために，学会発表，論文発表を行う。

授業到達目標

（1）文献検索などで，目的に沿った情報収集ができる。
（2）脳卒中の病態や脳循環代謝の基礎を理解できる。
（3）学会発表，論文作成ができる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	12:00 - 13:00	八木田 佳樹	脳卒中の病態：疫学，臨床病型，危険因子
隔週	火	12:00 - 13:30	八木田 佳樹	脳循環代謝の基礎：脳血管構造，血液脳関門の機能，脳虚血応答
隔週	水	16:00 - 17:00	大山 直紀	脳卒中の病態：疫学，臨床病型，危険因子
隔週	木	9:00 - 11:00	井上　剛	脳卒中の診療システム：多職種連携
隔週	木	13:00 - 14:00	山下 眞史	脳卒中の治療：再灌流療法の実際，急性期の全身管理
隔週	木	14:00 - 15:00	植村 順一	脳卒中の検査：画像所見の意味，超音波検査の有用性

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784787826169，必携脳卒中ハンドブック（改訂第４版），高嶋修太郎，伊藤義彰（編集），診断と治療社，2024
ISBN-9784525248512，脳卒中病態学のススメ，下畑享良（編集），南山堂，2018

参考書

ISBN-9784787826169，必携脳卒中ハンドブック（改訂第４版），高嶋修太郎，伊藤義彰（編集），診断と治療社，2024
ISBN-9784525248512，脳卒中病態学のススメ，下畑享良（編集），南山堂，2018

準備学習（予習・復習等）

（1）関連分野の文献を読み，仮説の検証法を自分なりに考えておく。
（2）準備学習には毎回１時間程度を要する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した研究成果をあげ，脳卒中学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

毎回発表を担当するか，最低１回質問・コメントを行うこと。